

令和6年度 自己評価シート ふたば認定こども園双葉幼稚園

自己考察項目	具体的内容	平均点 5段階評 価	分野別 100点満 点換算 平均点	自己考察項目	具体的内容	平均点 5段階評 価	分野別 100点満 点換算 平均点	
1・ 仕事への姿勢	(1)積極性 自分の仕事に積極的に取り組んだ	4.30	78.15	3・ 仕事の成 果	(1)仕事の 正確さ 与えられた仕事を正確に処理した。	3.48	74.81	
	自分の仕事の範囲に限らず、拡大するよう努力した。	3.52			ミスやクレームが目立つことはなかった。	4.00		
	(2)協調性 触媒で一緒に働いているものと仲良く仕事ができた。	4.07	79.01		(2)仕事の 量 与えられた仕事を迅速に処理した。	3.44	77.78	
	他人が忙しい時に進んで手伝った。	3.63			仕事の量を故意に減らし、手を抜くことはなかった。	4.33		
	(3)責任性 与えられた仕事を最後まで責任をもって成し遂げた。	4.15	77.04		(3)連絡・ 報告 仕事の進捗状況や結果を、上司に対して適切に連絡・報告した。	4.15	81.85	
	職場における自分の役割を十分に果たした。	3.44			連絡の間違いや報告が遅れて仕事に支障をきたすこと はなかった。	4.04		
	(4)規律性 職場の規律(ルール)をよく守った。	4.44	88.70		(4)保護者・接客対応 来客者に明るく爽やかに接した。	4.37	82.41	
	上司の指示命令によく従った。	4.26			保護者に明るく丁寧に接した。	4.33		
	守秘義務を十分に守ることができた。	4.63			保護者連携を円滑に進めることができた。	3.89		
	職場の秩序を乱す行動はなかった。	4.41			電話の受け答えは適切であった。	3.89		
	(5)勤務態度 始業時刻を守った。	4.67	86.17		(5)創意工夫 与えられた仕事の遂行において、創意工夫、改善改良を試みた。	3.44	68.15	
	終業時刻を守った。	3.78			仕事の効率化を目指して、先を見通しながら進めるこ とができた。	3.37		
	就業時間中は仕事に専念した。	4.48			平 均 点	76.28		
	(6)向上心 自分の保育技能を高めようとした。	3.56	70.12					
	仕事に関する専門知識を広げようと心掛けた。	3.70						
	研修に進んで参加した。	3.26						
	(7)自主性 自主的、主体的に仕事に取り組んだ。	3.81	72.59					
	困った時や忙しい時に、すぐに他人に頼ろうとする安 易な姿勢はなかった。	3.44						
2・ 知識・ 能力	(1)業務知 識 新・認定こども園教育保育要領の内容をよく理解して いる。	3.19	64.81	仕事への姿勢	昨年度よりどの項目においても成長がみられ、仕事に対する向上心や自主性の数値が顕著に伸びており、責任性においてもお互いの役割が十分に意識しながら職務が果たされていると言える。			
	幼保連携認定こども園の制度について深く理解して いる。	3.19			キャリアアップ等を推進していることもあり、各自が自身の研修計画を検討し、着実に研修実績を積み重ねて來ている。しかし、教務知識においては、積み重ねが不十分なところもあり、今後研修内容を精査しながら業務知識を深めていき必要がある。			
	幼稚園・保育園・認定こども園の区別を理解してい る。	3.33		知識・能力	お互いが、意識を高む持ちながら助け合い、不足をカバーしようとする努 力の成果を伺うことができる。今後はICT等を活用しながらより効率的で信 頼感がある仕事の取組を目指していくたい。			
	担当する仕事を遂行する上において、必要な知識を十 分習得している。	3.26			お互いが、意識を高む持ちながら助け合い、不足をカバーしようとする努 力の成果を伺うことができる。今後はICT等を活用しながらより効率的で信 頼感がある仕事の取組を目指していくたい。			
	(2)理解力 上司の指示命令や連絡事項を正しく理解する能力は ある。	3.85	73.70	A	自己評価の総合的な評価結果			
	十分に児童理解に努めた。	3.52			昨年度より総体的に意識は高く、概ね目的は達成値にあると考える。			
	(3)状況判 断能力 仕事上で起こっている状況を正しく判断できる。	3.63	68.89		今後の取り組む課題			
	普段とは異なる事態の発生に気づくことができる。	3.26			専門的な知識において不十分な職員が散見されるので園内研修等を充実 させる必要がある。また、より主体性を發揮した取組内容が求められる。			

評価項目の達成及び取組状況

仕事への姿勢	昨年度よりどの項目においても成長がみられ、仕事に対する向上心や自主性の数値が顕著に伸びており、責任性においてもお互いの役割が十分に意識しながら職務が果たされていると言える。
知識・能力	キャリアアップ等を推進していることもあり、各自が自身の研修計画を検討し、着実に研修実績を積み重ねて來ている。しかし、教務知識においては、積み重ねが不十分なところもあり、今後研修内容を精査しながら業務知識を深めていき必要がある。
仕事の成果	お互いが、意識を高む持ちながら助け合い、不足をカバーしようとする努 力の成果を伺うことができる。今後はICT等を活用しながらより効率的で信 頼感がある仕事の取組を目指していくたい。
A	自己評価の総合的な評価結果
A	昨年度より総体的に意識は高く、概ね目的は達成値にあると考える。
A	今後の取り組む課題
A	専門的な知識において不十分な職員が散見されるので園内研修等を充実 させる必要がある。また、より主体性を發揮した取組内容が求められる。